

# Network Vision 専門委員会

# 中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

Network Vision専門委員会

1/3

企画戦略委員

畑中 芳隆(NTTドコモ)

登録委員数

43委員(16会員)

委員長・副委員長/  
リーダー・サブリーダー

委員長:後藤 良則(NTT-AT) 副委員長:Leon Wong (楽天モバイル)

担当するSG・WP等

ITU-T SG13

活動の目的・意義  
・めざすゴール

- Future Networks (ITU-T SG13) などの国際・国内標準化活動をリードし、プレゼンスを発揮する。
- CJK IT Standards Meeting 配下 NSA-WG\*にて、日中韓(TTC,CCSA,TTA)で意見交換/整合を行い、国際標準化に向けての活動を促進する。  
\*NSA: Network and Service Architecture
- IMT-2030ネットワークの将来網実現に向けた要件について 信号制御、AI活用、IoTエリアネットワーク、IOWN GFの各専門委員会と連携した検討

## 活動体制の図解

(専門委員会/SWGと対応するSG/技術トピックス、関連する団体等)

活動する上での課題  
(人材面や運用面での課題を含む)

- NWの自律化等、NetworkとAIの密結合化に対応した活動の在り方検討。
- QKDNを含む、量子暗号への対応。
- OPEN Source、Operation等の検討を進めている各種フォーラムとの連携、情報収集の在り方検討。
- IMT-2030将来網とIMT-2020を含む現行NWとの相互運用の在り方検討。

関連のSDGsゴール

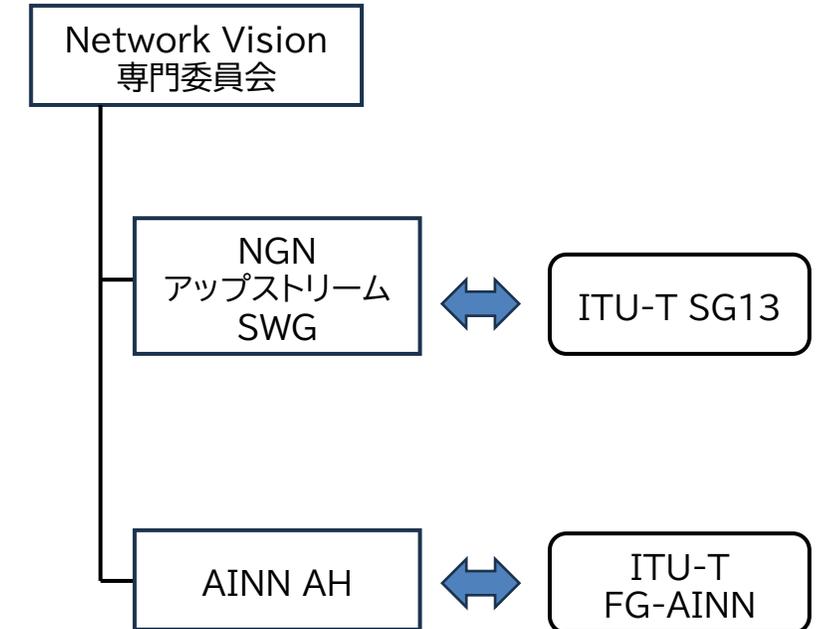


標準化方針

- 将来網に関するアップストリーム活動を総務省と連携し推進する。
- IOWN GF技術のITU-T勧告化に取り組む
- 新設FG AINN等自律型NW管理の実現に向けた課題の情報収集/分析、検討とアップストリーム活動。
- Beyond 5G、量子鍵配送について、専門家と連携して活動する。
- SG13勧告のダウンストリームは、会員要望に応じて対応し、制定済TTC標準並びに技術レポートの更新は、ITUの検討状況に応じて行う。
- CJK NSA-WG対応に際して、必要に応じ他専門委員会と連携する。
- 信号制御専門委員会でのSG11へのアップストリーム活動に連携する。

国内外の標準化団体等の動向

- NWソフト化、自律化等NW内AI適用に関連した、将来網の要件、アーキテクチャ、機能の議論が、SG13/FGをはじめ、ETSI、TM Forum、ISO/ISC等で継続。
- Big DATA、Cloud、DAN、ICN/CCN、Trust等、SG13での研究が継続。
- CJK NSA WGにて、Smart city、AI等の各種技術/用途における、中国、韓国との情報交換も継続。(CJK-17より:COVID-19の為、中断)



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p><b>専門委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。(今年度も、CJKは未開催)</li> <li>2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。</li> <li>IOWN関連技術のITU-T勧告化に向けた検討推進。</li> </ul> <p><b>NGNアップストリーム SWG</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。</li> <li>QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。</li> </ul> <p><b>AINN AH</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FG AINNへの対応を実施。</li> </ul>
---------------------------------------	--

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Security専門委員会(QKDN関連)</li> <li>信号制御専門委員会(CJK対応)</li> <li>信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会(2030年を見据えた将来網検討)</li> <li>IOWN GF専門委員会(将来網に関するITU-T勧告化)</li> </ul>
------------------------------	--

主な活動項目	概況指標	2025年度目標(当初計画時)	2025年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	寄書数	SG13 :-	SG13:5件(SG会合のみ寄書審議を実施)	
	外部会合への参加・連携状況	SG13 :-	SG13:2025年7月(JRG会合)、2025年10月/11月、2026年2月(JRG会合)	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
<p>③ ダウンストリーム</p>	数	-	TS制定 TR制定:	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	セミナー	-		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告 SG13 会合報告(未定)		

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み

- ・AI native networkについてはAINN AHを中心にFG- AINNへの対応を通じた検討を推進する。
- ・QKDについては国内の専門家と連携し勧告作成を推進する。
- ・低遅延、低消費電力ネットワークについてはIOWN GFなどの動向を把握し、勧告化を推進する。

新テーマ

- ・ 将来ネットワークに関する新テーマの検討を推進する。

関連する専門委員会または外部組織とその内容

- ・ 勧告案Y.L2E2net-frm及び関連する勧告案についてはIOWN GF専門委員会と連携。

主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13:-	-	
	外部会合への参加・連携状況	SG13(JRG会合含む)3回(見込み)		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告(未定)		